

I 平成30年度一般会計の決算状況

1 決算規模及び決算収支

平成30年度は、第四次宇部市総合計画後期実行計画がスタートした年であり、後期実行計画において、チャレンジする5つのまちづくりのテーマの目標達成に向けて着実な一歩を踏み出すための当初予算635億2000万円(対前年度比+1.2%)に7月豪雨に伴う災害復旧費や国の補正予算を活用した小中学校の空調設備設置及びブロック塀等安全対策経費など、年度途中に発生した行政需要の増加に対応するための補正予算32億7682万4千円を追加し、平成29年度からの繰越予算3億3022万2千円を含めた最終予算額を671億2704万6千円(対前年度比+0.2%)としました。

決算額は、歳入651億2803万5千円(対前年度比△2.4%)、歳出635億2343万3千円(対前年度比△2.7%)となり、歳入歳出差引額(形式収支)は、16億460万2千円でこの形式収支から繰越明許費等に係る翌年度へ繰り越すべき財源4億6928万3千円を控除した実質収支(純剰余金)は、11億3531万9千円となりました。

第1表 一般会計決算収支の状況

(単位:千円)

区 分		平成30年度 a	平成29年度 b	比 較	
				a-b	a/b×100
歳 入 総 額	A	65,128,035	66,753,317	△ 1,625,282	97.6%
歳 出 総 額	B	63,523,433	65,275,232	△ 1,751,799	97.3%
歳入歳出差引額 (A-B)	C	1,604,602	1,478,085	126,517	108.6%
翌年度へ繰り越すべき財源	D	469,283	118,396	350,887	396.4%
実 質 収 支 (C-D)	E	1,135,319	1,359,689	△ 224,370	83.5%